

歴博をあるく

ミュージアム・ショップあれこれ

広報部会

皆さんは美術館や博物館などを見学した際に、ミュージアム・ショップ（以下、MS）に立寄ることはありませんか。古今の美術作品や歴史的展示物などの、非日常的“ホンモノ”に接して得た感動のまま、企画・特集展示の図録や展示品の絵葉書やレプリカなどを手にする方は少なくないと思います。今回の歴博を歩くは、そんな当館のMSをのぞいてみましょう。

1階エントランスを入った左手には広大な吹抜け空間があり、正面に見える窓からは広々とした四季折々の風景が目を楽しませてくれます。この窓の下の中地階に開放的なMSが設けられています。（写真1）

MSは館オリジナルグッズ、企画展示グッズ、地元名産品、書籍・刊行物の4つのコーナーで構成されています。



写真1
中地階のMS

歴博名物の大パノラマ。見えているのは、観桜茶会が催される桜の大樹です。

最初に目に入ってくる企画展示グッズでは企画・特集展示に呼応し、テーマに因む展示物レプリカやアクセサリなどの記念グッズが品揃えされています。（写真2）



写真2 埴輪レプリカ
陳列台の形にもご注目！



写真3
江戸図屏風の扇子

館オリジナルグッズでは歴博ならではの『江戸図屏風』のミニチュア等の美術工芸品や扇子などの和装雑貨（写真3）、並びに『妖怪』関連のキーホルダーや文具・玩具などが根強い人

気商品です。また、地元名産品では佐倉および房総産の味噌、ピーナッツや和菓子などがお土産として人気があります。

書籍・刊行物では歴博館蔵の貴重典籍叢書、歴博フォーラムなどの研究報告叢書や歴博の諸先生の著書類を中心に、「考古・歴史・民俗・情報資料」の各分野の書籍が充実しています。また、小中学生を意識した歴史入門シリーズや古文書学習者向け関連図書も揃っています。

中地階から階段を上った1階の総合案内の向かいには「全国の博物館図録コーナー」と名付けられたMSがあります。

ここで真っ先に目に入るのが、見学者が必ず立寄る、企画・特集展示の図録を中心とした関連書籍やグッズのコーナーです。（写真4）

また、ここでは名前のとおり、提携する全国の約120の博物館で刊行された図録約900冊を展示販売しています。皆さんの調査研究に役立つ資料も見つかるかも知れませんね。（写真5）



写真4
企画・特集展示のコーナー



写真5
提携博物館の図録を展示販売

そして、ここでは当館の研究叢書などと共に、歴史系総合誌『歴博』のバックナンバーを完備しています。中地階のMSのような‘華やかさ’や‘親しみ易さ’にはやや欠けるものの、歴史学、民俗学に関心ある方々にとっては必見のコーナーといえます。

ご案内したMSは歴史民俗博物館振興会が館の展示企画や季節感などに基づいて品揃えを計画・運営しています。会員の皆さんも良く利用されていることと思いますが、新しい発見を期待して是非お立寄りください。